

令和4年第1回定例会  
(10日目)

津別町議会会議録

令和4年第1回 津別町議会定例会会議録

招集通知 令和4年3月1日

場 所 津別町議会議事堂

開会日時 令和4年3月17日 午前10時00分

延会日時 令和4年3月17日 午後2時1分

議 長 鹿 中 順 一

副 議 長 山 内 彬

議員の応招、出席状況

議席 番号	氏 名	応 招 不応招	出席 状況	議席 番号	氏 名	応 招 不応招	出席 状況
1	篠 原 眞稚子	○	○	6	巴 光 政	○	○
2	渡 邊 直 樹	○	○	7	佐 藤 久 哉	○	○
3	小 林 教 行	○	○	8	高 橋 剛	○	○
4	村 田 政 義	○	○	9	山 内 彬	○	○
5	山 田 英 孝	○	○	10	鹿 中 順 一	○	○

地方自治法第 121 条第 1 項の規定により説明のため出席した者の職氏名

(イ) 執行機関の長等

職名	氏名	出欠	職名	氏名	出欠
町長	佐藤多一	○	監査委員	藤村勝	○
教育長	宮管玲	○	選挙管理委員会委員長		
農業委員会委員長					

(ロ) 委任または嘱託

職名	氏名	出欠	職名	氏名	出欠
副町長	伊藤泰広	○	生涯学習課長	千葉誠	○
総務課長	近野幸彦	○	生涯学習課長補佐	石川波江	○
防災危機管理室長	宮脇史行	○	農業委員会事務局長	迫田久	○
住民企画課長	小泉政敏	○	選挙管理委員会事務局長	近野幸彦	○
住民企画課長補佐	加藤端陽	○	選挙管理委員会事務局次長	丸尾達也	○
住民企画課長補佐	菅原文人	○	監査委員事務局長	松木幸次	○
保健福祉課長	森井研児	○	監査委員事務局次長	丸尾達也	○
保健福祉課長補佐	仁部真由美	○			
産業振興課長	迫田久	○			
産業振興課長補佐	中橋正典	○			
建設課長	石川勝己	○			
建設課長補佐	斉藤尚幸	○			
会計管理者	藤原勝美	○			
総務課庶務係長	坂井隆介	○			
住民企画課財政係長	小西美和子	○			

会議の事務に従事した者の職氏名

職名	氏名	出欠	職名	氏名	出欠
事務局長	松木幸次	○	事務局	安瀬貴子	○
総務係長	土田直美	○			

会 議 に 付 し た 事 件

日程	区分	番号	件 名	顛 末
1			会議録署名議員の指名	7番 佐藤 久哉 8番 高橋 剛
2	議案	14	令和4年度津別町一般会計予算について	
3	〃	15	令和4年度津別町国民健康保険事業特別会計予算について	
4	〃	16	令和4年度津別町後期高齢者医療事業特別会計予算について	
5	〃	17	令和4年度津別町介護保険事業特別会計予算について	
6	〃	18	令和4年度津別町下水道事業特別会計予算について	
7	〃	19	令和4年度津別町簡易水道事業特別会計予算について	
8	報告	1	例月出納検査の報告について（令和3年度11月分、12月分、1月分）	

(午前 10 時 00 分)

◎開会の宣告

○議長（鹿中順一君） おはようございます。

ただいまの出席議員は全員であります。

◎開議の宣告

○議長（鹿中順一君） これから本日の会議を開きます。

本日の会議に付する議案は、お手元に配付のとおりです。

◎会議録署名議員の指名

○議長（鹿中順一君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 125 条の規定により、議長において

7 番 佐藤 久哉 君      8 番 高橋 剛 君

の両名を指名します。

◎議案第 14 号～議案第 19 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 2、議案第 14 号 令和 4 年度津別町一般会計予算についてから、日程第 7、議案第 19 号 令和 4 年度津別町簡易水道事業特別会計予算についてまでの 6 件を一括議題とします。

昨日に引き続き、質疑に入ります。

質疑はできる限り簡潔に、議題外にわたらないようにし、答弁についても要点をとらえて簡明に願います。

質疑に際しては予算書に記載のページ数を言っていただきます。

日程第 2、議案第 14 号 令和 4 年度津別町一般会計予算についての歳出、第 4 款衛生費から第 5 款労働費、第 6 款農林業費、第 7 款商工費まで、ページ数は 223 ページの下段から 330 ページまでの質疑を許します。

8 番、高橋剛君。

○8 番（高橋 剛君） 3 点お願いします。

まず 230 ページの上段、病院施設整備基金積立金ですけれども、以前お伺いした時に、目標とする期間ですとか金額ですとか、そちらのほうは決まっていないというお話でしたけれども、今でもそれは変わっていないのかどうかお伺いをしたいと思います。

続きまして、302 ページの上段、木質ペレットストーブの購入支援事業なんですけれども、本年度の実績はどうだったのか教えていただければと思います。

3 点目です。318 ページの下段、商工振興補助費等、北海道 U I J ターン新規就業・移住支援事業なんですけれども、こちらは北海道の補助事業だと思うんですけれども、津別町の具体的な活動というのはどのようなものなのか、教えていただければと思います。

○議長（鹿中順一君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（森井研児君） ただいまご質問のありました 230 ページ、病院施設整備基金積立金の関係でお答えしたいと思います。

津別病院さんとのやり取りということは継続して行われておりますけれども、具体的な病院の最終的なあり方、規模、こういったものがまだ見えてきておりませんので、最終的な金額、目標額というものは現状まだ見えてきていないという状況になります。

○議長（鹿中順一君） 産業振興課長補佐。

○産業振興課長補佐（中橋正典君） それでは 302 ページ、ペレットストーブの納入実績であります。令和 3 年度については 1 台の納入実績になります。

もう一つ、318 ページ、U I J の関係でございますけれども、北海道が運営するマッチングサイトと連動する形で、町のほうも企業の登録などを含めて一緒に動いているような形で促進を促しております。

以上です。

○議長（鹿中順一君） 8 番、高橋剛君。

○8 番（高橋 剛君） まず基金の積立金のことなんですけれども、今、お話をいろいろされているということなんですけれども、一つはっきりお聞きしたいのが、丸玉さんが津別病院の建て替えというか、それをするという意向をもたれているということによろしいのか、その辺の話し合いがもしあれば教えていただければと思いま

す。

二つ目のペレットストーブなんですけれど、もうこちらのほうは質問もさせていただいていますし、はっきり言いまして、ちょっと応援したいなと思うところもあります。

それで、ペレットストーブの購入に関しては、バイオマスセンターとこちらの事業と、前の一般質問でも少しお話しさせていただいたかと思いますが、津別町という町を特徴づけるものとしては、やはり一次産業だと思うんです、この町って。その中でも、やはり林業がすごく津別町は特徴をもっていますので、植林から木材の製造加工まで全てうちの町でできてしまうというのは、すごい津別町の特徴だと思うので、ペレットストーブのこの購入支援事業はすごく規模としては毎年小さいんですけれども、その一つの特徴づける事業だと私は思っているんで、これは頑張っていたきたいなと思っております。

それとバイオマスセンターに関しては、2回ほど一般質問をさせていただいていますので内容はわかっていますので、今回、質問等々はないんですけれども、ぜひ頑張っていたきたいなと思っております。

重ねて一つだけお伺いしたいんですが、今年も、例えば展示会を開いたりだとか、広報でこういうペレットストーブがあります、新しいこういうのが出ていますよみたいな紹介をされていたかと思うんですけど、同じような戦略で来年度もいこうと考えているのか、その辺あれば教えていただきたいなと思います。

北海道U I J ターン新規就業・移住支援事業なんですけれど、こちらのほうは実績というのは上がっているんでしょうか、その辺を教えていただければと思います。

○議長（鹿中順一君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（森井研児君） 二つ目のご質問になると思いますけれども、丸玉木材さんが建て替えの意向をお持ちかどうかというところなんですけれども、現時点のところは丸玉さんが主体的に建て替えに関わっていただけるというか、されるというところで認識しているところです。

○議長（鹿中順一君） 産業振興課長。

○産業振興課長（迫田 久君） 302 ページのペレットストーブの関係でありますけど

も、今、高橋議員がおっしゃるとおり応援していただいているというふうなところは重々認識しております。こういった中で、昨年も展示会を開催させていただいておりますが、やっぱりまだ一般町民に認識といたしますか、やっぱりちょっと価格が高いというふうなところもございますので、そういったところで行きますと、今、灯油等が高騰していけば、もう少し皆さんに気づいていただけるのかというふうなところがございます。

今後どのような形で推進していくのかというふうなご質問だったと思うんですけども、今年度、今、議員がおっしゃっていただいたとおり木質バイオマスセンターが建設されます。その中で、今年も同じような形で昨年同様の報告会等々も随時開催していくというふうなところも検討しておりますので、それらとあわせまして、今度はバイオマスセンターができる、できたら皆さんに注目していただけますので、その活用とともに、このペレットストーブの普及には同じような形で、それとリンクさせながら進めていきたいというふうに考えておりますし、もちろん例年の広報活動というふうな形も継続していきたいと考えております。

○議長（鹿中順一君） 産業振興課長補佐。

○産業振興課長補佐（中橋正則君） 318 ページ、U I J ターンの関係でございますけれども、令和3年度の実績を申しますと、単身者が2名来ることになりました。ちなみに福祉事業所に1人、そして木材加工所に1人という実績になっております。

○議長（鹿中順一君） 8番、高橋剛君。

○8番（高橋 剛君） まず積立金に関してなんですけれど、丸玉さんがやる意向が今のところあるということで認識させていただいて、そうしますと、この基金、去年、当初予算で3,000万円だったかと思えます。補正予算で7,000万円で合計1億円になったかと思うんですけども、今回の金額を見ますと約5,000万円ということなんですけど、これ金額として少し少ないのではないかなと思うんですけど、当初からもう少し増やすということは考えられなかったのかどうか、そのあたりを教えていただければと思います。

ペレットストーブについては了解をいたしました。

あとU I J ターンなんですけれど、こちらのほう先ほども言いましたけど、道の補



助金を使われていると思うんですが、道の補助金がなくなったらやめてしまうのかどうか、独自に津別で先も続けていこうかなと、先ほど実績をお伺いしますと、全部で2人ですかね、1名と1名で2名ということですね。2名というのは、私は結構上がっていると思うんです、正直。だから効果はあるのかなという印象はあるんですが、財源の関係がありますので、こちらのほうは見通しとしては、どういう見通しを持たれているのか、補助金がなくなったらやめてしまうのか、それともやはり、もう少し独自にやってみようかなという意向も町としては持っているのかどうか、お聞かせいただければと思います。

○議長（鹿中順一君） 住民企画課長。

○住民企画課長（小泉政敏君） 230 ページの病院の積み立ての関係でございますが、少なくないかというようなお話であったかと思いますが、先ほどからお答えしているとおおり、まだどれだけ必要かというのがはっきりしていません。あと全体の町の予算というところも考えると、いきなり何億円がいいのかという話にもなろうかと思いますが、それもまた不明な話になってしまいますので、当初としては、町全体の財政の関係を見てこれぐらいだろうということで決めさせてもらいました。

ただ年度末もそうなんですけども、令和3年度も同様ですけども、結局、最終の年度末には剰余金を増額して積み立てていくという、町のほうとしては、そういう優先度は高いという考えを持ってございますので、今年度末も令和4年度末も剰余金が出た場合については、こちらのほうを優先的に積み立てていきたいという考えを持ってございます。

また、そういうことでいろいろ議員をはじめ町民の皆さんにも不安になっているところもあるかと思えますけども、そういう不安になるべくさせないような形で進めてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 産業振興課長補佐。

○産業振興課長補佐（中橋正典君） 318 ページ、U I J ターンの関係でございます。町の考えとしましては、予算がなくなったから、いっぱいになったから終わりというような考えではないところです。ですから、道だとか関係機関と協議をしながら、受け入れの態勢を町としても支援していきたいという考えをもっておりますので、引

き続き柔軟にというか、その辺の対応はしていきたいと思います。

○議長（鹿中順一君） ほかに。

4番、村田政義君。

○4番（村田政義君） 2点について考えをお聞きしたいと思います。

1点目は242ページの18節の関係であります。水道未給水地区整備事業の関係で、今年度も昨年に引き続き360万円計上されております。昨年度については木樋地区において井戸の発掘を試験的にしたというふうにお伺いしております。しかし残念ながら水質とかもろもろの条件が重なって使用できないという状況が出ております。そういったことで、今年も同じ金額が組まれておりますが、今年度の発掘等の計画はどのようになっているのか、もし考えがあればお聞かせ願いたいと思います。

それともう1点、324ページのチミケップキャンプ場管理経費の関係であります。これも昨年と同じような金額が組まれておりますが、特にチミケップについては、夏はキャンプ場、それから冬はワカサギ釣り、こういったところで賑わっている状況であります。夏の関係については水洗化されていますから環境整備もきちんと整っていますが、特に言われているのは、今年、ワカサギの時期が終わったのかどうかはわかりませんが、冬期間トイレが封鎖されることによって、ごみとか、あるいは排泄とか、来た方が自然の中で終わらせてしまっているという状況の中で、非常に管理者のほうからも処理に困るという話もされております。そういったことで、できれば冬もトイレが使えるような状況ができれば一番いいんだろうと思うんですけれども、こういったことを含めて、今年度の状況がどうだったのか含めて考えをお聞かせ願えればと思います。

以上です。

○議長（鹿中順一君） 建設課長補佐。

○建設課長補佐（斉藤尚幸君） 242ページの水道未給水地区整備事業の今年度の予算についてであります。この予算につきましては通常の井戸、1件当たり100万円と、浄水機1軒当たり20万円の通常の補助の範囲で予定しているもので、木樋地区に限ったものではございません。木樋地区の関係については、まず物理的にどのような方法が可能かということ、こちらのほうでまずは精査しない限りは、地域の住民の方とお

話しできるものはないと思っております。まずは、ちょっと内部でその辺何ができるのかというのを詰めてから、地域の方とお話をしていくという形になっておりますので、その辺ご理解をいただきたいと思えます。

○議長（鹿中順一君） 建設課長。

○建設課長（石川勝己君） 324 ページのチミケップキャンプ場の予算につきましては産業振興課所管ですが、今ご質問あった部分については、ワカサギの釣り場の関係かというふうに思えます。河川管理の関係で建設課所管になりますので、私のほうからお答えをさせていただきたいと思えます。

長期間ワカサギ釣り場として公式に釣り場としている部分ではございません。釣りの愛好家の方が釣っているという場所で、私どもとしても安全管理の部分と、それからごみの関係についての部分で週に2回管理する委託をして、そちらのほうに出向いていただいて、ごみの収集や利用のマナーの関係について、啓蒙を含めてやっております。

トイレの問題につきましては、前々からも話題になっておりますし、課題の部分であります。冬期間簡易トイレを置くにしても、その場所がない、それから当然冬ですから凍結の問題、管理の問題を含めて非常に難しいというようなところで認識をしております。ですから、ないという状況の中でマナーを守っていただくというような形で、釣りをされる方をお願いをしてくれているというところが現状でございます。

以上です。

○議長（鹿中順一君） 4番、村田政義君。

○4番（村田政義君） 1点目の水道未給水地区の関係については、私もこの360万円の内訳、助成金、発掘する際に100万円、浄水機を買う場合は20万円とこれは十分理解しているところであります。

とりわけ昨年度、木樋地区において、今、正直言って私が認識しているところについては、水道未給水地域7地区というふうに理解をしているところであります。とりわけ相生地区、それから東岡については飲料水としての水源が確保されておりますけれども、特に東岡は簡易水道で整備されたという状況で、一つずつそういう未給水地域についても整備されているのかなというふうに私自身も認識をしておりますが、昨

年度、木樋地区において整備された内容も、それなりに私も聞かされております。

やっぱり地域の人たちにとっては、やっぱり春先の雪解け、大雨、昨年もかなり水の濁りで家庭水にかなり苦慮したようであります。1日も早い復旧というものが好ましいというふうに言われていますので、今、この後、地域の方とも十分注意してやるということでもありますから、ぜひそういったことも含めて、できるだけ早い時期にこういった未給水地区の整備をお願いしておきたいと思っております。

あとチミケップの関係はわかりました。確かに冬期間、簡易トイレとかいろんなものを今言われたとおり備え付けるというのはかなり厳しいということを言われているし、やはり釣り人のマナーというのが1番基本になりますけども、なかなかそのところは言っても、やっぱり必ずしも100%守られるのかといえば必ずしもそうではないというふうに私も感じております。そういったことから、やっぱりそういったところをさらに徹底しながら、きちっと対策をとっていただくことをお願いして、私の質問については終わらせていただきます。

以上です。

○議長（鹿中順一君） 建設課長。

○建設課長（石川勝己君） 1点目の部分につきましては、議員とも前からお話をさせていただいている部分でありますし、経過についてもご理解いただいているということでございますので、引き続き地域のほうと話を続けていきたいというのと、既に申し上げておりますが、農業の関係の補助事業なんかも模索しながら進めていきたいというふうに考えています。

それから二つ目の部分につきましても、チミケップの関係ですが、マナーに頼らざるを得ないという現況の部分、また引き続きその部分も何らかの工夫を我々もしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（鹿中順一君） ほかに。

9番、山内彬君。

○9番（山内 彬君） 2点ほどお伺いしたいと思っております。

最初に 306 ページの地域バイオマス利活用促進事業のことについてお伺いしたいと思います。

先日、成果報告会にも私も出席させていただいて、内容をいろいろ聞かせていただいたところであります。そこで、ここの報告会で内容について何点かこの先のことですけどもお伺いしたいと思います。

完成は今年ということで、今回、町の主要事業の目玉になるものかなと思います。そこで、この完成後の収支計画等は計画の時点で十分練って大体目途を立てているかと思いますが、この収支計画において、概要についてできればお伺いをしたいと思います。というのは、当然、収支が合うように経営を考えているかと思いますが、そこで運営先についてはどういうふうに考えているのか、公営で建設して運営は民間だというふうに報告会の時に説明がございましたけれども、運営先について考えがあればお伺いしたいと思います。

それから、この報告会の中でチップの利活用について報告がございましたが、一つは隣にあるペレット工場のほうへの供給、それからキノスのほうで暖房用で使われる等、それから農業の畜産のほうにも使うと報告を受けております。

そこで、この畜産のほうにペレットをそのまま使えるのかどうか、ちょっと疑問を持ったものですから、一部維持加工して供給するのか、その辺りについてお伺いしたいと思います。

2点目は、318ページのレストハウス管理経費について、維持管理の部分の予算しか計上しておりませんが、これは何回か議会でも議論をしているところでありますけれども、コロナが始まる前から営業停止して、今現在に至っているところであります。まちづくり会社のほうで再建に向けて検討をされていると思いますけれども、営業の再開の目途について町のほうで会社のほうとどういう話をしているのか、わかればお伺いをしたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 産業振興課長。

○産業振興課長（迫田 久君） まず 306 ページのバイオマスセンターに関するご質問につきましてお答えしたいと思います。

まず1点目ございました収支計画でございますが、このセンターを建てるにあたりまして、補助事業を活用していくわけですが、その中で立てております収支計画でございますと、まず収入の部では2,555万円ほどの収入を見込んでおります。支出が1,765

万円ほど見込んでおります。営業利益としましては 790 万円ほどの営業利益を見込んでおります。そういった中で、これらの計画をもとに誰が運営していくんだというふうなところがございますが、議員ご指摘のとおり公設民営の形を目指しております。団体としましては、今ペレット製造施設を運営していただいておりますペレット協同組合を母体とした再生可能エネルギーマネジメントセンターというふうなものを立ち上げていながら、その中でこの運営につきまして担っていただきたいというふうな計画をしております。

そして、つくったものはどういうふうな所に出荷するんだというふうなものでございます。これにつきましては報告会の中でもある程度ご報告はさせていただいているんですけども、まず議員ご指摘のとおり 1 番大きなところにつきますと、施設が建造される横にありますペレット製造施設に約 5,900 立法で、そのほかにキノスのチップボイラーのほうに約 613 立法、家畜用の敷料としまして 3,320 立法ほどを計画しております。

その中で、今、懸念されております家畜用の敷料に、要はこのチップが適しているのかというふうなところがございますが、昨年の実証実験の中で、チップにつきましては農協が指定管理を受けておりますたい肥センターのほうに供給をしている実績がございます。その中の感触としましては、ちょっと硬いというふうなところであったりとか、あまり家畜糞尿の吸いが悪いんじゃないかというふうなご指摘をいただいているところがございます。

しかしながら、今、現有の敷料として使っているバークがございますが、その粉碎したものと、混合することによって利用は可能だというふうな形で農協のほうからは聞いております。

あと農協のほうでもバークの原料自体が今足りないというふうなところでいけば、このバイオマスセンターから発生する家畜用のチップについては期待しているというふうなところの言葉もいただいているところがございます。

続きまして、318 ページのレストハウスの運営の状態でございますが、先日、実はレストハウスを経営しているまちづくり会社等と管理をしている産業振興課のほうと実は協議をしております。そういった中でいきますと、まちづくり会社の方としても今

年度につきましては再開をしていくという計画をいただいております。中身につきましては、いろんなことを考えていただいておりますけれども、管理をしている産業振興課といたしましては、1日も早い再開をとというふうなことをお願いしている状況でございます。

以上です。

○議長（鹿中順一君） 9番、山内 彬君。

○9番（山内 彬君） ありがとうございます。

バイオマスセンターのことについて何点かまたお伺いしたいと思います。このチップについての原料の関係でございますけれども、報告会の中では林地残材だとか、各家庭等から庭木何かを買い取るとか、いろんな報告を受けております。先ほどの量からすると、かなりの原料を調達しなければ、この収支含めて当然関わることでございますので、町のほうとしては、原料はどのようなふうに調達するのか、そのルートあたりはきちっと確立されているのかどうか、そのあたりについてお伺いをしたいと思います。

それからもう1点、販路の関係ですけれども、単価や何かは大体想定して収支計画を練られているかと思いますが、町内向けで限定しているのか、広く町外にも販路を考えているのか、これあたりについてお伺いをしたいと思います。

レストハウスにつきましては、まちづくり会社のほうにこの施設についてお貸ししておりますので、向こうの意向を尊重しながら多分やっていかれると思いますけれども、国道縁に2年も3年も空いているとイメージ的にあまりよろしくないのではないかなと思いますし、町民の方もいつですかということも聞かれるので、やはりまちづくり会社の経営も大変かと思いますが、町のほうの支援できるものは支援しながら、再開に向けてぜひお願いしたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 産業振興課長。

○産業振興課長（迫田 久君） 306ページのバイオマスセンターの関係でございますが、まず木の原料のルートはどのようなふうな形で原料を調達するんだというふうなご質問でございます。基本は今、ペレット協同組合の分につきましては、今ペレット協同組合が活用している木をそのままバイオマスセンターのほうで活用するというふう

なところでもありますので、計画上ではパルプ材だったりとか追い上げ材というふうなところを活用、原木換算で約 2,500 立法ほどを見込んでおります。あとは報告会の中でも地域の皆さんとともに、このバイオマスセンターを活用していくというふうなもくろみと、地域の方々によく知ってもらおうというところで、ウッドロスマルシェというふうな形で地域の住民の方々の参加型を計画しています。その中でいけば 160 立法ほどは皆さんにご協力いただけるんじゃないかというふうな形で計算をしております。あわせて農業関係等々から発生してくるだろう、要は農地の支障木といわれるものを年間 1,000 立法ほどが出てくるというふうな形で計算をしております。この農地の支障木につきましては、農家の方々から鹿柵に支障がある木であったりとか、近年その要望があります河畔林だったりとかというふうなものを想定しております。これらの量につきましては、かなりの量があるというふうな形で試算をしておりますが、じゃあそういったところでどういうふうに道筋を立てているんだというふうなご質問だったと思いますけども、現状でいきますと、ウッドロスマルシェにつきましては、今やっているような広報活動だったり勉強会を通じて広く町民の方々に理解をしていただく、もう一つの支障木の部分につきましては、まず河畔林につきましては、河川管理者、道であったり国であったりするんですけども、実は道の段階でいきますと、実は相談をしております、現実の中で。そういった中でいって、道のほうとしても河川に支障のあるものについては撤去が必要だというふうな認識をいただいておりますので、これにつきまして、あとは条件を整理しながら協定等々を結びながら、確実に確保に努めたいと考えております。

もう一つ、鹿柵等の畑周りの不要な木といいますか支障木の関係でございますが、これは先日、町長のほうからもご提案いただきました、農家の若者団体からも実はどうにかしてくれというふうな形でご提案をいただいているところでございます。加えまして、近年の鳥獣被害の観点から、それらの被害防止策としてある一定程度、山と畑を区切る境をつくりなさいというふうな形の指導も来ているというふうなところも考えまして、そういったところではいけば農地を守るというふうな意味でも支障木を撤去しないといけないというふうなところもございますので、そういったものも受け入れていくという形で計画をしております。大体それが 1,000 立方というふうな形にな



っております。

販路につきましては、今のところでいけば、先ほど申し上げたとおりペレット向けであったりとか暖房用向けのチップだったりとか、あとは畜産用のチップというふうな形でございます。ペレットにつきましては、うちの中で工場もございますし、チップにつきましても今チップボイラーをキノスに設置するというふうな計画もございます。もちろん家畜用というふうなところにつきましては、津別町には堆肥製造施設がございますので、そちらのほうで十分活用できるというふうに見込んでおりますので、全て町内で循環をできるという形で見込んでおります。

続きまして、レストハウスの関係でございますが、やはり議員おっしゃるとおり、1日も早くというふうな形で産業振興課のほうとしても期待をしておりますし、その会議の中でいけば、まちづくり会社のほうも早い段階で営業していきたいというふうな形で協議は終えております。

以上です。

○議長（鹿中順一君） 9番、山内彬君。

○9番（山内 彬君） ありがとうございます。

それで、このバイオマスセンターでチップがつくられて、この生産の用途先を見るとペレット工場のほうに行くのが多いんですけども、年間的にどれぐらいの稼働を目指しているのか、また、ここで当然働く方が出てくるかと思いますが、それあたりの状況について今計画で考えているあたりについてお伺いしたいのと、このチップの保管というのか、ある程度すぐ供給できないと思うんですけども、生産したものをどこに保管するのか、それあたり前回の報告会ではなかったんですけども、どうされるのかお伺いをしたいと思います。

レストハウスについてはわかりました。

よろしく願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 産業振興課長。

○産業振興課長（迫田 久君） ありがとうございます。

まず稼働の関係でございます。これにつきましては、これらの量を年間通して生産していくというふうな形での考え方でございますけども、今、稼働してそこで働いている

方というふうな観点でいきますと、先ほど言ったとおり、今までペレットを製造していただいているペレット協同組合さんの稼働率でいきますと、実はフル稼働といいますが1年間の稼働にはなっていないというふうな状況なのは事実でございます。今回、これらのバイオマスセンターを稼働することによって、先ほど答弁させていただいたとおり、これらの運営を目指しているのは、今のペレット協同組合を母体とした再生可能エネルギーマネジメントセンターでございますので、そういった観点でいきますと、今まで1人工でなかったものが、このバイオマスセンターをつくることによって1人工の人間が必要だというふうな形でありますので、今バイオマスに関連して働いていただいている方々につきましては、フルの仕事の量になるというふうに実は踏んでおります。ですから、ここで新しい雇用が生まれるのかというふうな観点につきましては、ちょっと表現は悪いかもしれませんが0.5人が1人になるという形なので、新しい雇用の創出というふうな形には、実はあまり期待してございませんが、継続的な仕事場になるというふうなところにつきましてははいけるんじゃないかなというふうに思っております。

次、保管でございますが、今回バイオマスセンターの中に保管庫もある程度整備を進めます。加えまして、原木の段階で水分を抜いて、それをチップにして供給をしていくというふうな形でありますので、チップ材の保管の量というふうな形につきましては、あまり在庫がないのかなというふうに思っております。

しかしながら、入ってくる量だったりとか、何でしょう、急にたくさん原木が入ってきたときに処理しないといけないというふうな状況も出てくることも想定いたしまして、本年度、要はチップの段階でどれだけ乾燥できるのかなというふうなところも試験をしていきたいというふうに考えておりますので、保管の方法につきましては今年度さらに磨きをかけていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○議長（鹿中順一君） ほかに。

5番、山田英孝君。

○5番（山田英孝君） 3点についてお伺いしたいと思います。

はじめに、232 ページ、母子保健推進事業の事業費 645 万円についてであります、国のほうで新たに母子保健対策強化事業という形で令和 3 年度の補正予算でこの事業が盛り込まれていて、津別の中でも歳入のほうに衛生費、国庫補助金で 64 万 2,000 円が措置をされています。それで、ここの母子保健推進事業の中で、この事業に該当するものは具体的にどこの事業費になるのか、その内容について教えていただきたいと思ひます。

続きまして、270 ページになります。鳥獣被害防止総合対策事業の補助金で、有害鳥獣駆除事業 405 万円についてです。昨年度から狩猟免許の取得に関する補助 1 人 5 万円という補助制度ができておりますが、この予算の中には具体的に今年の予算の中では何人分というか、どの内容になっているのか。あわせて昨年のこの狩猟免許の補助を利用された方の人数と、この方が猟友会のほうにも入っているのかどうかという点についてお伺ひしたいと思ひます。

次に、304 ページ、森林環境譲与税活用事業の補助金で、林業従事者就業支援事業 260 万円の予算措置になっています。令和 3 年度は 535 万円だったんですけど約半分ぐらい減額となっていますが、その理由についてお伺ひをいたします。

以上についてよろしくお願ひします。

○議長（鹿中順一君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（森井研児君） ご質問をいただきました 232 ページ、母子保健推進事業、これに関わる補助金の充当先というようなご質問だったかと思ひますけども、具体的にはページ数で言いますと 234 ページになりますけれども、備品購入費、母子保健事業用ということで、3 歳児検診視力検査機器と専用プリンターというふうにしておりますけども 128 万 3,000 円、これの 2 分の 1 の補助という形になります。

今般、日本の眼科学会、小児眼科学会、こういったところから子どもさん、3 歳児の検診で、今までは視力の検査しかできなかつた、いろいろな模式図といいますかイラストを見てとか、視力を測ることしかできなかつたということなんですけれども、見逃されていた屈折検査というものがあるらしいんですけども、その屈折検査によって、その単純な視力だけじゃない弱視というような、その他の病弱といいますか視力異常といいますか、そういったものは発見しやすくなるということで、各地方自治体

にも請願書のようなものが届いております。それと符合するような形で国も補助金という形で支援をしていただいたという形になろうかと思えます。

ということで、検査機器購入費用の2分の1ということで当たるということになりますので、よろしく願いいたします。

○産業振興課長補佐（中橋正典君） 270 ページの狩猟免許の関係でございます。免許取得、令和3年度の実績といたしましては1名取得されました。今後の見込みとしては、感触ですけれども3名ほどが今後とるだろうということで聞いております。

以上になります。

○議長（鹿中順一君） 産業振興課長。

○産業振興課長（迫田 久君） それでは私のほうから 304 ページの林業従事者支援事業の関係で回答したいと思います。

まず、何で下がったのかというふうなところでございますが、昨年の実績の数字はちょっと今手元になくて誠に申し訳ないんですけども、実績にあわせてというふうなところでは。

本年度のところにつきましては、就業支援金として令和2年の4月までで採用者が実は6名あったんですけども、令和3年の4月までで2名というふうな形でちょっと減っておりますので、今回は当初は8名を見ております。そういった形で人数がだんだん減ってきているということで、当初の予算につきましては減額して組んでいるというふうなところでございます。

以上です。

○議長（鹿中順一君） 5番、山田英孝君。

○5番（山田英孝君） 232 ページの母子保健対策強化事業については了承しました。子どもの出生数がコロナ禍の影響もあって減少しているということで聞いておりますので、本当に少ない生まれたお子さんを大事に、町のほうも安心して育てられるような、そんな環境を引き続いてお願いしたいなと思えます。

それで、この関係とちょっと関わるかなと思うんですけど、今年の町政方針の中で児童福祉法改正により設置に努めるとされた子ども家庭総合支援拠点の整備という整備を進めてというようなそんな表現で町政方針の中でうたわれているんですけど、こ

の拠点というのは、同じ保健福祉課の中に置かれるようになるのか、それをすみません追加でお聞きしたいと思います。

あと有害鳥獣の関係でお答えいただきました。ちょっと答えがなかったんですけど、1名の利用があったということで、この方は猟友会にも加入をされたというふうに解釈していいかなと思うんですけど、有害鳥獣の駆除の部分については、この猟友会の協力なくしてはできない部分だというふうに思いますので、引き続いて、この猟友会と連携を保ちながら、会員を育てていくというか、そんなような支援についても引き続き対応をお願いしたいというふうに思っています。

それと森林環境譲与税の関係なんですが、予算措置の部分は了解いたしました。それで、津別町は昭和57年に全国に先駆けて愛林の町宣言を行っている町です。

それで昨年の予算審議の中で、同じこの項目の中で小林議員が質問した時に、小林議員の話がちょっと記憶に残っているんですけど、森林を守っていくというのは、未来を守っていくことなんだとか、あるいは林業というのはかっこよくて崇高な仕事なんだと、そんなような言葉を使っていました。私も今一度この愛林の町宣言をしている津別町の町民として、やっぱり何か意識が昭和57年と相当な年数がたってはいるんですけど、やっぱり町民として、こういった意識といった部分が少しずつ何か薄れているのかなというのを感じているところです。それで、もっと林業に触れる体験だとか、例えば植林だとか間伐体験をしていく、そういう森林環境の体験ツアーなど、そういった部分もこの森林環境譲与税活用事業を使って、いわゆるソフト事業の部分についても、今後の中で検討ができないかなというのを感じているところです。

農業の部分については、ちょっと郊外に出るとすぐ大型の農業機械でそういう作業をしている風景は見ることはできるんですけど、林業の中で、例えばそういう伐採とか、あるいは枝払いなんかも林業ロボットがすごい形で伐採していくんですけど、そういった作業を町民の方も生で見た方というのは、なかなかいないのかなと思いますし、道端を走っていてそういう作業が見えるということもまたないと思うので、そういった、今一度、何かそういう林業の仕事というか、そういった部分も触れ合っていくというか、体験をしていくというようなことも、将来そういう林業の作業をする方をつくっていく人材育成といった部分でも必要なのかなというふうなことも考えてお

りますので、その辺の関係で、もし考えがありましたらお聞かせ願いたいと思います。

以上です。

○議長（鹿中順一君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（森井研児君） ご質問というか、ご意見のとおり少子化が進んでいるという状況にありまして、この予算の中でも予算面だけでも、例えば委託料の中の産後ケア事業というのがありますけども、この産後ケア事業は今まではショートステイというか、あと家庭訪問というような形しか組めませんでしたけれども、北見地区の医療機関が受託できるということになりまして、こぞってこの近隣の市町村これから新年度取り組むような形になりますけれども、ロングステイであるとかショートの宿泊というのでしょうか、こういったことで産後の妊婦さん、もしくは、そのご家庭をケアするような、そういった予算も今回組ませていただいているということで、日々進んでいく子育て環境に少しでも拡大できるような形で進めていければというふうに考えているところです。

それと、ご指摘のありました子ども家庭総合支援拠点の絡みですけども、予算面の絡みで言うと、母子保健というよりも児童福祉法ですので、どちらかというとな要保護児童というのでしょうか、子育てに絡む部分もありますし、その家庭の貧困という部分もあると思うんですけども、児童虐待が残念ながら増えてきているようなそういう世の中をかんがみまして、子どもを総合的に見守り育てていこうというような拠点を令和4年までに整備しましょうという努力義務が児童福祉法で課せられております。そこには専門職も配置しながら見守りするということになっておりますので、どのような形でどこにということとは、これから進めていくことになりますけども、総合的に子どもさんの育成を支援していくような体制を保健福祉課の全体で支援していくような形になるんじゃないかということで今考えております。

○議長（鹿中順一君） 産業振興課長補佐。

○産業振興課長補佐（中橋正典君） 270ページの鳥獣被害防止総合対策事業の関係でございます。ちょっと先ほどの回答、ちょっとあいまいでしたので訂正させていただきたいと思います。この270ページの鳥獣被害防止の関係では、主にシカそしてハト、カラスの駆除に係る分というふうに積算しております。

先ほど質問がありました猟友会の関係につきましては、290 ページ、ちょうど中間ほどにあります補助金の猟友会というのがあるんですけども、その中で免許の取得だとか猟友会の運営の部分に係る補助金ということでここに付けております。

議員おっしゃるように、猟友会の力なくしては、この被害を拡大させないということは不可欠であります。やはり猟友会も高齢化が進んでいるのは実情であります。今年免許を取った人についても 50 代ということで、これからまだまだやっていただけるのかなど。多分その 50 代の方についても、先輩からお前もやらないかというような誘いの中でおそらく取得に至ったんじゃないかなど。令和 4 年の見込みについても、そういう先輩たちがいて、先輩に誘われてというような形で猟友会はつながっているのかなというふうにも私たちは見ておりますので、期待したいと思います。

○議長（鹿中順一君） 産業振興課長。

○産業振興課長（迫田 久君） それでは私のほうから森林の関係でございますが、森林環境譲与税の使い道といたしましては、これまでも議員の皆さん方とご協議をさせていただいたり報告をさせていただいているところで、もちろん山田議員がおっしゃるようなこの森林の今後の活用の仕方だったりとか普及というふうなところに、森林環境税を財源として行うというふうなところは可能でございます。本町といたしましても、この活用につきましては、例えば木育の資金だったりとか、今回の予算でも組ませていただいております林業労働安全衛生推進費というような形で、労働安全衛生備品にも補助をしたりとかというような形で、うちの職員も着用しておりますが派手な作業服といたしますか、チェーンソーが当たっても切れないような服もありまして、そういったものでかっこいい林業者といたしますか、そういうふうな形の姿にどんどん変わっていただいていると思いますし、加えまして林業の中にも I T というふうのが進んでおりまして、町内の業者でございますけれどもドローンによって苗木を運んでいるというふうなところもございますので、そういったところの最先端の動きもあります。

加えまして林業大学校も先日ニュースになっておりますけれども、第 1 期生が卒業していますし、それらについても本町といたしましてもフィールドの提供であったりとか、そういうふうなところもしておりますので、担い手の継続というふうなところ

も実際行っている状況でございます。

そういった中で本町は愛林の町宣言をしている町だというふうなところで、その意識がだんだん町民に薄れてきているんじゃないかというふうなご指摘でございます。最近ではコロナ禍で町民植樹祭のイベントもちょっとできていないというふうなところでございますが、それらを活用しながら愛林の町の意義をもう一度町民の方に理解をしていただくというふうなところも今後進めたいと思っておりますし、加えまして議員から提案がありました山の姿を見せていくというふうなところにつきましては、道東テレビさんのご協力をいただきまして、今、津別町がつくっておりますデジタルの広報の中でも林業特集を組んでいただいたりとかしておりますし、そういったところでいけば、直にはないんですけども町民の方々に少しは理解していただけるのかなと思いますし、この庁舎もたくさんのお木を活用して、そういったところで愛林の町ならではの取り組みだというふうに思っております。

今後の取り組みといたしましては、北海道のほうといたしましても、北海道グリーンワーケーションというふうな形で、全道で何とか森林の活用というふうな形、もうどんどん探っている状況でございますので、そういった形を関係機関と協議、協力をしながら、何とか森林の新たな活用方法というふうなところにつきましても協議を進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

○議長（鹿中順一君） 暫時休憩します。

休憩 午前 11 時 00 分

再開 午前 11 時 10 分

○議長（鹿中順一君） 休憩を閉じ再開します。

ほかにありませんか。

2 番、渡邊直樹君。

○2 番（渡邊直樹君） それでは何点かご質問させていただきます。

まず 230 ページです。健康増進事業、10 需用費、健康づくり事業用 6 万 3,000 円の



中身と、あわせて次の 232 ページ、委託料、健康づくり事業 27 万 1,000 円の中身についてお聞きしたいと思います。

同じく、それにあわせて 232 ページの健康増進事業ということで、この庁舎ができてまして健診ホールができたわけですが、今後これから特定健診などあると思いますが、健診事業の業務で、今後、健診ホールの利用というものについてどのように考えているかお聞きしたいと思います。

続きまして 234 ページ、母子保健推進事業、19 扶助費、特定不妊治療費助成事業 30 万円ほど、この内容と実績についてお聞きしたいと思います。

次に、236 ページ、予防接種経費、委託料 948 万 4,000 円の内容についてお聞きしたいと思います。

続きまして 304 ページ、今、先ほど山田議員のほうからも質問があった項目ですが、森林環境譲与税の関係でございます。林業従事者支援事業について 530 万円ほどから減額されたということは、今、課長のほうから説明もあって、当初 8 名の見込みでというような説明もあったかと思うんですが、ちょっとその答弁の中で私が聞き逃していたなら、もう一度になってしまいますが、今年度のこの減額の部分については何名採用の予定の予算なのかお聞きしたいと思います。

また、あわせて、当然、実績を見ながら予算というのは組んでいくんだと思うんですけども、例えばこのままでいくと見込みがなければどんどん減っていくとか、そういうこともあり得るのかなと思うんですが、大きく組み過ぎて減額補正するというのも変な話なんですけど、やはりこういうもの、目標値を目指すために、ある程度こういうことをやる意義というものによっての見込みというものも必要なのではないかなと、先ほど高橋議員からもペレットストーブの関係もあったと思うんですが、実績の部分で変えていく部分と、やはりそれを目指すという部分の予算というあり方についてお聞きしたいと思います。

同じ項目の中で林業労働安全衛生推進事業、今、説明の中で先ほどの答弁の中で安全備品などについての説明があったと思うんですが、ちょっと増額していますので、その部分、細かい説明はいらないんですけども、ちょっと大まかなところで要因についてお聞きしたいと思います。

また、愛林の町私有林整備事業については 1,000 万円ほど昨年あったかと思うんですが、今回、ちょっと半分以下ということなんで、その部分についても要因についてお聞きしたいと思います。

最後に 322 ページ、峠展望施設管理経費、修繕料 86 万 9,000 円の内容についてお聞きしたいと思います。

以上、よろしく願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（森井研児君） 質問された内容、230 ページの 6 万 3,000 円の健康づくり事業から順にお答えしたいと思います。この事業費の中身につきましては、健康教育用パンフレット購入、あと肝炎ウイルス勧奨用パンフレット購入、歯周病予防健診個別勧奨用パンフレット購入、健康教育用の教材、がん検診用事務用品、これらのものを購入する経費になっております。

続いて 232 ページです。委託料の健康づくり事業の部分になります。こちらにつきましては大まかに二つの事業になりますけども、40 代からの健康づくり教室、これは 6 回シリーズのものの健康教室になります。それと 60 代からの健康づくり事業、こちら 5 回シリーズを予定しています。これらの教室実施のための健康運動指導士、あと運動スタッフ、これらの方に対する委託料ということになっております。

それと 234 ページの健診ホールの今後の使用見込みということだと思っておりますけれども、今年度さまざまな健診を行ってきましたけれども、今年度は特にコロナの影響もありまして、密を避けるという意味で中央公民館でやったり、町民会館を使用したというところで、私も最終的には健診ホールで全ての健診ができるもんだというふうに期待していたところでもありますけれども、具体的に蓋を開けてみると、いわゆる乳幼児健診のような小規模であったり人数の少ない検診は十分に健診ホールのほうがいいというところがあったんですけれども、それ以外の大規模ながん検診であったり、特定健診であると、スペースも必要ですし、なかなかあの健診ホールでは手狭じゃないかというふうに見ております。ですから、せっかくしつらえた部分はあるんですけれども、今後はやる内容と時期と、あと大体見込みの人数、こういったものを見ながら、適宜場所を選定しながら進めざるを得ないのかなと、現時点では思っているところで

す。

それと 234 ページの母子保健推進事業の中の特定不妊治療費助成事業、こちらの中身になりますけれども、こちらも少子化対策の一環で特定不妊治療を今年度は道が補助金を出していますけれども、それに上乘せする形で町も支援するという形になっております。令和3年度の実績はないというような状況になっております。

236 ページの予防接種事業の中身かなと思いますけれども、こちらにつきましては、いわゆる法定の予防接種という形になりまして、子どもさんの4種混合ワクチンであったり、今話題になっていますけれども子宮頸がんのワクチンであったり、あと大人向けの風疹のワクチン接種であったり、日本脳炎用のワクチン接種であったりというようなものも入っております。

それと、あと高齢者向けのインフルエンザ接種の助成の部分というようなことで、町が行う法定のもの、あと任意のもの含めて、もちろんコロナは別枠なんですけれども、コロナを除いて法定のもの、あと任意のものがこの中に948万4,000円の中に入っているということでありますので、よろしく願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 産業振興課長。

○産業振興課長（迫田 久君） 私のほうから304ページの森林環境譲与税活用事業の関係でご説明したいと思います。

今、ご質問にあった補助金の中身でございますが、先ほど山田議員へのお答えもさせていただいたとおり、まず就業支援の関係でございますが、実績が令和2年が6名、令和3年が2名というふうな中で、本年度は8名の者を見込んでおるといふふうなところからの数字になっております。そのうち、全くの新規を2名というふうな形での内訳になっているんですけども、そういった形で下がっていきながらも、ある程度の従業者数は確保したいという思いでございます。

続きまして労働安全の関係ですけども、これにつきましては、要は作業服とか備品とかというふうなものに全体で67名分のものを考えております。加えまして林業機械というふうなものが5件ほどあるんじゃないかというふうに見込んでいます。

あと愛林の町の関係ですけども、実は、その下がった要因といたしましては、保育間伐等々のほうに補助金を出していくものでございますけれども、初回間伐と本当の

保育間伐、初回間伐、間伐というのがあるんですけども、その初回間伐と間伐というふうなものが見込みがないというふうなところがございます。そういったものでいて、保育間伐のみの対応というふうな形で 670 万円ほど昨年度より計画で減をしております。

そういった中で、林業従事者、先ほど山田議員からもあったとおり、じゃあこのままじり貧になって下がっていったときに、この森林環境譲与税は使わないのかという形のご質問だったと思うんですけど、やはり、うちの町は第一次産業の町でありますし、林業というふうなものについては、なくてはならない産業だと思っております。それらの従事者確保につきましては、やはり支援をしていかなければいけないというふうに思っておりますので、そういう支援につきましては大切な財源だというふうに思っておりますので、例えば前の年がゼロであったとしても、やはりその従事者を増やしていくという観点からいけば、こういった形で毎年予算を計上させていただきたいというふうに考えております。

加えまして、先ほどもちょっと述べさせていただいたとおり、林業の I T 化等々も進めなければいけないというふうな観点もありますので、機械がどんどんどんどん新しくなっていきますので、そういったところにも、やはりきちっと支援をしていきながら持続できる林業界といえますか、そういうのも十分期待しておりますし、そういったところにもきっちり支援はしていきたいというふうに考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

以上です。

○議長（鹿中順一君） 産業振興課長補佐。

○産業振興課長補佐（中橋正典君） 私のほうからは 322 ページ、峠展望施設管理経費の修繕の内容でございます。施設を管理するにあたっての一般修繕費ということで 11 万円、あとライブカメラの調子が悪いもので更新したいということで 25 万 3,000 円、あと電気設備の更新ということで、発電機による電気を施設の中で受けているんですけども、その受けている安定器がどうも調子が悪いということで、その更新に係る分ということで 50 万 6,000 円という内容になっております。

○議長（鹿中順一君） 2 番、渡邊直樹君。

○2番（渡邊直樹君） 1点についてだけ再質問させていただきます。健診ホールの関係です。今、コロナ感染症が収まらない中で、やっぱり人流ですとかいろんなことがあって、そういう広さだとか換気だとかというものが重要になってくる中で、今、課長がおっしゃったように、ちょっと私が要約して言うてしまうと手狭というような言い方がちょっと耳に残るんですね。例えば特定健診なんかでいえば、今まで町民会館でやっていますし、そういう流れもできているので、我々利用する側から見れば広いしスムーズなんですけど、思い起こせば、この新庁舎建設の時に、こういう町の健診作業がこの健診ホールでできますというところからいろいろ始まったのかなと私は記憶しているので、今、課長の説明にあったように、こういう世の中というものの観点から、今、乳幼児っていう、ある程度。小規模な形の利用は適切というような発言があったかと思うんですが、こういう時代のご時世が収まったときには、いわゆる町の中の大きな健診もこの健診ホールでやれるということなのか、それとも役場を建ててみて、利用してみて、その結果この健診ホールというものは、そういう大規模な健診には適さないということなのか、ちょっと答えにくいかもしれませんがお聞きしたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（森井研児君） 庁舎建設の経緯については、ちょっとコメントする立場にないのでなかなか言いづらいところですけども、1年間やってみまして、確かどこかの議会の補正予算の場だったか何かで渡邊議員に、もしくは立ち話かもしれませんが、秋の健診は健診ホールでできるのかという質問をされた記憶が自分もあります。あの時、自分も健診の実態をよく知らないこともありましたし、次の健診は健診ホールでできるというふうに期待していますみたいな自分も答えをしたような記憶をもっています。

ただ、実際にやっていく中で、現場の保健師を含めた中で、これは本当に言いづらいところですけども、スペースであったり機材の配置場所であったり、あと人の流れであったり、もろもろを考えると、なかなか健診ホールで全ての大規模健診までやるのは厳しいんじゃないかと考えていますという回答がありました。ですから全く使わないということではないですけども、先ほどお答えしたとおり乳幼児健診をはじ

め、個別の切り分けた健診などは十分できると思うんですけども、その用途と中身と、あと見込みの人数ということで、場所については使い分けながら、あと、ただ利用者の方がこの健診はここだよねという定着したのもも十分あるかと思imasので、そういったものにも配慮しながら、実態にあった進め方をさせていただくしかないのかなというふうに考えていますので、よろしくお願いいたします。

○議長（鹿中順一君） ほかに。

第4款衛生費から第5款労働費、第6款農林業費、第7款商工費までの質疑を中断いたします。

次に、第8款土木費から第9款消防費、第10款教育費、第11款災害復旧費、第12款交際費、第13款予備費まで、ページ数は331ページから494ページまでの質疑を許します。

3番、小林教行君。

○3番（小林教行君） それでは5点について伺いたいと思います。

最初に368ページ、12節委託料、GIGAスクールサポーター業務28万8,000円の事業内容について伺いたいと思います。

次に、420ページ、図書室経費の中の真ん中辺、読書感想文6万8,000円の事業内容及び昨年度の実績について伺いたいと思います。

444ページ、社会体育事業経費、12委託料、ジュニアスポーツ講習業務120万円の事業内容について伺いたいと思います。

次に、464ページ、下のほうのスケートリンク設備管理経費、スケートリンクの使用実績について、わかれば過去3年間、令和元年、令和2年、令和3年分の利用実績を伺いたいと思います。

次に、474ページ、トレーニングセンター管理経費の17備品購入費、折り畳み固定式バスケットゴール一式他となっておりますけれども、これはトレーニングセンター内のバスケットゴール、4台全ての更新の値段なのか、また、これは処理費も込みでの値段なのか伺いたいと思います。

以上、5点についてお願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（千葉 誠君） それでは、368 ページ、G I G A スクールサポーター業務についてお答えをさせていただきます。

G I G A スクールサポーター業務につきましては、小中学校における今後の I C T 活用についての指導助言、それから学校現場を訪問しリモート対応とか実態の環境を確認して設定作業等、それから児童生徒の家庭学習に関する環境整備ということで、学校との相談という形になります。それから教職員からの通常の相談業務ということで、なかなか内容的には定まってというか、このことというよりも、逆に学校の困りごとを受けて随時対応していくというようなイメージでとらえていただければと思います。

以上です。

○議長（鹿中順一君） 生涯学習課長補佐。

○生涯学習課長補佐（石川波江さん） 私のほうから 420 ページの図書室経費の読書感想文コンクールの実績ですけども、すみません、細かい受賞者が何名ですとか、応募者数というものはちょっと手元にありませんので、後ほど説明したいと思います。

あと 444 ページのジュニアスポーツの委託料 120 万円の内訳ですけれども、一つは、もともとスキーのオリンピック川端絵美さんの長年実施していますスキー教室と、新たに 100 万円のほうは、趣旨としては世界の第一線で活躍したアスリートによるスポーツ教室を体験教室を通してスポーツの楽しさとか魅力を伝え、興味、関心、積極的にスポーツに親しむ意欲を高め、体力向上を図るもの。また、スポーツを通して心身に健やかな成長を育むことの大切さを保護者のほうにも理解してもらい、親子のコミュニケーションから、生活指導、子育ての課題について学び、子どもがスポーツに親しむ機会の促進を図ることを目的としています。

これは町の総合計画の中の教育・子育ての中の施策にもありますし、社会教育の中期計画のほうでも盛り込んでいる内容を実行するものです。内容といたしましては、運動会前にかけてこ教室、トランポリン教室、サッカー教室、カーリング体験、パラスポーツというような内容を予定しています。対象は種目によっては年長から小学生、また保護者というような内容になっておりまして、これは一括して北海道のオールオリンピアンズというところに委託する内容になっています。

あと 464 ページのスケートリンクの過去の実績ですけども、令和元年度はすみません、令和2年度は開設日数 19 日に対して 59 人、令和3年度は 28 日開設して 467 人ということで大幅に増えております。

最後のトレーニングセンター、474 ページのトレーニングセンターのバスケットゴールですけども、これ 4 台ともトレーニングセンター開設当時、昭和 58 年に設置したもののなので、もう老朽化が激しく、落下する恐れがあるものですから、安心、安全を確保するために 4 台とも更新するような内容になっています。

あと読書感想文の関係は内容のほうでしたか。

(何事か言う声あり)

○生涯学習課長補佐(石川波江さん) 実績の細かなものがないんですけど、内容は各学校を通すんですけども、町が主体となって本を読んでいたポップ、あと 1、2 年生は絵、あとは中学生まで読書感想文ということの応募を自主的なものになっていますので、ちょっと件数は減っておりますけども、そういうものをしっかり審査をしまして、12 月に毎年やっています図書まつりのほうで表彰式を行っています。

細かい内容は後ほど用意します。

○議長(鹿中順一君) 3 番、小林教行君。

○3 番(小林教行君) まず 368 ページ、G I G A スクールサポーター業務についてです。やはり I C T の活用は非常に重要で、学びの幅を広げるためには必要なことでありますけれども、何せ苦手な方には非常に難しいところがございます。私もこの 1 年でいろいろ勉強をしまして、いろんな所に足を運んだんですけども、1 回行って、次はちょっと仕事で行けなくて、その次になってみると全然わからない、時間が空くとすぐにまた忘れてしまって、もうみんなは先に進んでいるというような状態で、非常にこういったところの I C T の活用というのは苦手であります。先生方の中にもきっと苦手な方もいると思います。ですけども子どもたちって早いんですよ、すごく子どもたち、今 i P a d の持ち帰り等々もしておりますけれども、あっという間に覚えて、私が使うよりも使いこなせるんじゃないかなというふうになってきているところがございます。やはり先生方には、子どもたちに聞かれたことにすぐ対応できるように、また、さらに学びの興味を持っていただくような取り組みに対してもさらに研



さんしていただければと思います、この相談窓口というところをやっていっていただければと思います。

420 ページの図書室経費、読書感想文についてなんですけれども、やはり応募総数は今出ていないんですけれども、やはりさらに増やす取り組みというのをさせていただきたいというのが実情でございます。

今年のおそらく3年生は学校での取り組み、授業での取り組みをされたから多かったと思います。私も読みましたけども、中学生の感想文を読みましたが、やはり同じ方が書いているというのが、ものすごく感想文自体上手になってきているというのは素晴らしいことであるんですけれども、やはり読む日を推奨し図書を読んでいただいて、さらにステップアップというところで読書感想文を書いて、それをくせづけるというか、ぜひ自分がいいと思ったものを人に伝えるという力は非常に重要になってくるかと思えます。ですので学校とも連携しながら、この感想文に出してくる人々たちを増やしていただける取り組みを続けていただきたいと思います。

444 ページ、ジュニアスポーツ講習業務につきまして、今年度は川端絵美さんはコロナの関係で来れなかったのですけれども、スケート教室で藤村祥子さんが来られたのに私も参加させていただきました。非常にやはり元オリンピックの方ということで、おそらく軽く滑っているんでしょうけども、子どもたちからは歓声上がる、やはり一流のアスリートのパフォーマンスを見るというのは子どもたちに素晴らしい刺激になるのだなと。また3年生の感想文の中に藤村祥子さんも出てきて、すごくスケートを滑るのがかっこよくて、あんなふうに滑りたいといったような内容のを見まして、その子は今年初めてスケートを履いたんですけどもみるみる上達していった、これも一つ素晴らしい効果があったのかなと思います。

この事業、子どもの小さなところから大人の方が見てもやはり一流のアスリートのパフォーマンスというのは素晴らしい刺激になると思いますので、更にたくさん参加をされるように促していただければと思います。

464 ページ、スケートリンク、これも去年は非常に日数も少なかったというところで、またスケート少年団もなかったということで少なかったんですけども、今年は非常に天候にも恵まれていると言いますか、少し出来上がるまでには少し時間がかかったん

ですけれども、その後、2月の末のほうまで使えたということで、増えたということは喜ばしいことだと思います。スケートといいますのは、最初にスケート靴を履いて滑れる子というのはほとんどいないわけで、ツルツル滑りながら立つのもやっとというところから、不思議なことに2回目、3回目になるとどんどんあつという間に上達していくところがございます。これは子どもたちへ成長の成功体験に素晴らしい効果があると思います。今年もスケート教室を何回もしていただいて、子どもたちの挑戦するきっかけになったと思いますけれども、やはり私も何回かスケートを子どもたちを集めてやったんですけれども、やはりアイスホッケー等をやりますとすぐ上達しますし、タイムを計るとか、リレーで競わせるとものすごい盛り上がりを見せながら、あの寒い中で汗だくになりながら外での運動ができるというのは、これもぜひ本来であれば、もう学校の教育に取り入れていただきたいところですが、さまざまな事情があり難しいというのは承知しております。ですけれども少しでも多くの方にスケートに挑戦していただけるように取り組んでいただければと思います。

474 ページのバスケットゴールについてですけれども、これを取り替えて、ちょっと想像があまりつかないんですけれども、今、昭和58年のトレーニングセンターですので、いずれ更新の時期が来るかと思っております。その時にバスケットゴール、今取り換えたやつを、次のやつに取り換えるということも可能なのかどうか伺いたいと思っております。

以上、お願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（千葉 誠君） 368 ページのG I G Aスクールサポーターの件ですが、議員おっしゃったとおり、先生方についてもやはり得意、不得意ということがあって、ただスタートしてからそういう状況ですが、先生方のほうにも少しずつ取り組んでいただいたり、もともと得意といいますか、進めていけるという先生もおりますので、その辺のところは、再度また学校のほうで研修部を中心に進めていただきたいと思いますと考えております。

以上です。

○議長（鹿中順一君） 生涯学習課長補佐。

○生涯学習課長補佐（石川波江さん） 420 ページの図書室の取り組みの読書感想文の

関係ですけれども、人を増やす取り組み、もちろん司書のほうでもいろいろ考えてはいます。ただ、目的というのは本を読んでもらうことが目的と考えると、やはり感想文を書いたりするのが苦手な子が本を嫌いになってしまうというような、いろいろな部分も実はありまして、ただ、学校巡回をするようになってから、うちの町の図書室の司書が子どもたちと直接お話する機会もありますから、感想文が苦手だったら絵をかいてみようかとか、読んだ本のことを絵にしてみようかとか、あと高学年だと素晴らしいポップ、議員も見たと思うんですけども、いろいろな取り組みがありますけれども、目的は本を読んでもらいたいという取り組みなので、これはどういう形が読書感想文の応募者を増やすということも大事ですけれども、本を読んでもらうような取り組みということでいけば、いろいろちょっと考えているときでありますので、また、もし何かいろいろなご提案がありましたら、保護者の立場、また学校ともいろいろ図書担当の先生とお話ししているところでもありますので、今後どんな取り組みができるのか司書のほうで考えていきたいと思っています。

また 444 ページのジュニアスポーツの関係です。いろいろ参加していただいて実感していただいた部分で、とてもありがたい部分でもあるんですけども、確かにスケート、とにかくアスリートの方が来て、いろいろなやっぱり刺激を受けるんだなということで、何年も担当していて見えています。今年度は町の総合計画でありますように、子どもだけではなくて親が学習する機会ということで、この中でスポーツに取り組んだりする親の関わり方ですとか、あとは食事のことですとか生活面、そういうことも含めた形の学習会にも取り組もうという中身でありますので、また成功体験とありますけれども、逆にチャレンジをして失敗することが自分にとって自分でいろんなことを見つけられる機会なのかなという、いろいろなアスリートの方と接したり、本を読んでいると、必ず成功ばかりじゃなくて、失敗だとかつらい体験から学ぶことがたくさんあるんだよということをお聞きしますし、一般質問の中でありました、子どもが勉強するにはどうしたらいいかという部分は、最近のアスリートは、やはりスケートでもバスケットでもサッカーでも何でも、とにかく勉強しないと何もスポーツは上手にならないというのが開口一番に話されます。それがやはり子どもにとって、保護者から教室を受けてからすごく勉強をするようになったという話も聞きますし、そうい

うようなスポーツを通して勉強だったりスポーツ以外のことに取り組んでもらうようなきっかけとなればいいかなという思いで企画をしています。

あと 464 ページ、スケートリンクです。先ほど元年度は後で調べてということでしたけど、雪不足でスケートリンクはオープンしていませんでしたので実績はないですし、リンクは新しい委託先になって2年目です。2年目になると、やはりかなりスムーズだなというふうに思っていますし、雪が足りなくていろんな工夫をされているのも、朝とか休みの日も私も見に行くと、細かい霧吹きを掛けたりとか、すごい地道な作業だなということを実際に見たりもしています。そんな矢先、リンクができた途端に大雪が来たりということで、いろんな苦勞もありますけども、何とかスケート教室も3回予定していたものが2回はでき、あと予備で用意していた藤村さんのアスリートの指導も受けることができ、やはりオリンピックの方は強くなるだけじゃなくて、子どもの遊び方も上手で、とにかく遊びを通した上達ということは、本当に指導者もスポーツ推進委員も一緒に参加しましたのでとても勉強になったというようなことでしたので、今年は議員おっしゃるとおり随分ホッケーに取り組んでいただいたので、スケートリンクの利用は増えたと思いますし、今後そういう形でいろいろな地域の方に協力してもらいながら、せっかくなつくリンクの利用者が増えればいいなという取り組みはしていきたいと思っています。

あと 474 ページのバスケットゴールの関係です。先ほど説明が足りなかったですけども撤去費全て込みの金額、あと今回、やっぱりもともとのバスケットゴールは備え付けということでしかできないんです。もともと例えば移動式ですといろいろな助成もあって、大型スポーツ用品等の助成も使えるんですけども、備え付けみたいな部分はあまり補助が受けられるものは大規模改修的なものしかないんですけども、やはり今の施設の広さでいけば移動式は置けませんので、壁に備え付けということですから、今後の後利用というのは現実的に厳しいので、長く使ってもらうため、ただ今は、とにかく安全確保が優先になりますので、なんとかそこを今年度更新したいというふうな考えで実施したいと思っています。

以上です。

○議長（鹿中順一君） 3番、小林教行君。

○3番（小林教行君） G I G Aスクールサポートのことは了承いたしました。

読書感想文につきましても、やはり無理強いして嫌いになってもしょうがないというのも重々わかることをごさいます。ただスポーツもそうですけども、得意なこと、好きなことだけやっけていても成長できないというのも事実をごさいます。その辺のバランスをうまくしながら子どもの成長につなげていければと考えております。

また、スケートリンクにつきましても、私、実は活波にスケートリンクがあった時も教えていたんですけれども、その時はただただ滑らただけで、遊びを取り入れたりとかというのはしていませんでした。今年に入って藤村さんの活動を見て、こんなふうにやったら子どもたちは楽しくできるんだなということで、私も学ばせていただきまして、子どもたちと一緒に楽しみながら私も成長させていただきました。本当にありがたい取り組みだと思しますので、続けていただければと思います。

最後のトレーニングセンターのバスケットゴールの件についてなんですけども、了解いたしました。新しい施設に持って行くというのはやはり厳しいということなんですけれども、それでもやはり大事に使っていただきたいというのは私も同じ気持ちでございます。今のバスケットゴールは小学生用の高さで大人用の高さというふうに調節できるかと思っておりますけれども、どうしても小学生用の高さのときに、バスケットゴールにぶら下がらないでくださいと書いてあるんですけれども、それでもやっぱりぶら下がったりするのを見かけたりすることもございます。その都度、私は見かけた時には注意するんですけれども、やはりここはずっと言い続けなければいけないところだと思しますので、そのあたりも考慮しながら新しい施設を大事に使うようにしていただければと思います。

以上です。

○議長（鹿中順一君） ほかに。

4番、村田政義君。

○4番（村田政義君） ちょっと2点についてだけお伺いしたいと思っております。

342 ページの新規事業の中で街路灯LED化工事の関係であります。今年度50基LEDに切り替えていくということであります。このことによって、どれだけ電気代が節約できるのか、また、今津別町にどれだけ街路灯があるのかわかりませんが、

今後そういった残りの部分も含めて年度別に予算を組みながら進めていくのか、その辺についてまずお聞きしたいと思います。

次に 458 ページであります。これも新規事業でゲートボール場屋根等改修工事であります。これは私どもも視察させていただきました。その際、屋根の修復とか外壁を含めて非常に大変な状況になっているということも認識していますから、そういった部分で今回予算を組んで改修するということについては、これは大変いいことだと考えています。ここは単にゲートボール場ではなくて、ほかの交流の部分でも利用しているというふうな話も聞いていますが、視察に行った際に、今年、おそらく屋根改修等の中にも含まれているのかなとは思いますが、支えている鉄柱もやっぱり多少結露のところもあるのかなというふうに視察の中で感じたものですから、そういったところも含めて、この改修の中に見込まれているのかどうか、より安全性を高めるという意味で、やはりそこは重要なポイントになりますので、そういったことを含めてどうなのかお聞きしたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 建設課長。

○建設課長（石川勝己君） 私のほうから 342 ページの街路灯LED化工事のご質問についてお答えいたします。まず町内、私どものほうで管理をしています街路灯につきましては、総数で 936 基になります。そのうち平成 27 年の時に賃貸借の関係で 1 年工事をした部分については 829 基、それ以前、平成 23 年から平成 28 年度に町のほうで単独でLEDの電灯をつけたものが 51 基ございます。残り 56 基につきまして今回、今年度の事業でLED化を行っていくという計画になっています。従ってこれが終われば、残りの部分についてはなしという形になります。

それから電気代の関係ですけれども、一概にこの 56 基が同じタイプのものではございませんので、幾らかということは細かな正確なところは申し上げることはちょっと難しいと思いますが、推定というか前回の部分からの実績やなんかの経験を踏まえますと、約 5 割から 6 割電気料がカットされるというような推測をしております。

以上です。

○議長（鹿中順一君） 生涯学習課長補佐。

○生涯学習課長補佐（石川波江さん） 458 ページのゲートボール場の屋根の改修の関

係なんですけども、一応結露の関係等は、雨漏りがひどい時に技師にも一応見ていただきながらの設計でありますので、そういう部分を確認しながら、屋根を改修というよりは簡単に言えば上に乗せて、全く防ぐ形になりますから照明をLED化するというようなものになります。その部分でいけば工事の内容をしっかりと確認して進めたいと思っています。

○議長（鹿中順一君） 4番、村田政義君。

○4番（村田政義君） 1点目については了解しました。

2点目についても、今言われたように私ども視察に行っているいろいろ中を見ているから、やはり安全性を重視しながら、そこで活動する方が安心してできるような状況をつくっていただければということをお願いして終わらせていただきます。

よろしくをお願いします。

○議長（鹿中順一君） 昼食休憩とします。

昼食休憩 午前 11 時 53 分

再 開 午後 1 時 00 分

○議長（鹿中順一君） 昼食休憩を閉じ再開します。

ほかにありませんか。

1番、篠原真稚子さん。

○1番（篠原真稚子さん） 2点ほどお聞きしたいと思います。442ページのつべつ紅葉マラソンなんですけど、去年が記念大会で、ちょっと記憶が違っていたらあれなんですけど、金額的にも多いので、今年何か節目のイベントをする予定にしているのか、だとしたら、いつもオリンピックに出ているような方がいらっしやっていたかと思いますが、そんな計画はされているかどうかということをお聞きしたいのと、もう1点は、481ページからになって、ここってことはないんですけど学校給食のことについてお尋ねしたいと思います。

今、SDGsとか、それから全体的に学校はちょっとわからないんですけども、食品ロスの問題がいろんなところでなされているかなと思います。環境省で学校の1年当

たりの残菜というか、そういう量を調べたというような記事もありましたので、津別町では残菜というかそういうものを調べてロスというのがどの程度あって、子どもたちにどのような指導をされているのかということの2点についてお尋ねします。

○議長（鹿中順一君） 生涯学習課長補佐。

○生涯学習課長補佐（石川波江さん） 442 ページのマラソン大会の関係ですけれども、令和3年度が確かに20回の記念大会ということでしたけれども、コロナの関係で実行委員会といろいろ協議をしまして、町民だけの特別大会ということでカウントしないものとして令和4年度は20回記念大会ということの企画をしています。

実行委員会でも、終わった後の反省等で町民大会は町民大会で町民限定のもいいねということではあったんですけども、長いこと町外から来ていただいている選手の方もいますので、やはりこの大会をカウントせずに令和4年度に記念としての大会を実施してというようなことになりました。ただ内容的には、いろいろな意見もありましたけど、教育委員会、事務局としては招待選手を呼んでということで、この大会には、予算が承認いただけたら正式に回答をいただけるんですけども、大迫傑さんをお願いを直接しましたら検討いただけるというような回答をいただいていた。ただ年明けに現役復帰するというようなニュースも見ましたので、事務所の方に連絡をしたら、本人、現役復帰しても、日程は早くに伝えていきますので、日程があれば自治体の小さな大会であっても本人がよければ行くというふうに本人が言っているということでした。ただ実際のところ予算が承認いただけた後には、すぐまた実際どうなのかということをお話ししてと思っていますし、もし大迫傑さんがだめだった場合も、今回はマラソン大会ということで、その後でいけば有森裕子さんとか、わかる子どもが少なくはなっていますけども、一般の方はまだいろいろな取り組み、子どもですとかいろいろな障がい者の関係のいろいろな取り組みもしていますので、そういう部分ということで、また内容等については実行委員会と相談していきたいなと思っています。

○議長（鹿中順一君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（千葉 誠君） 学校給食の関係でSDGsに関連しまして食品ロスについてということで答えさせていただきます。

議員が言うように、残菜については給食のほうでも集計はとっております。ただ、



私そこで数字的なものは持っていませんので、後ほど伝えさせていただきたいと思います。

対応についてですけれども、食べ物大切さということで栄養教諭のほうから、それぞれクラスに行った時はそういうようなことを伝えているということと、ロスについてはアンケートを子どもたちにもとっているんですけども、やっぱり子どもによって好きなもの、嫌いなものがそれぞれあって、量が少ないという子もいますし多いという子もいるのも実態です。やはり好きなメニューとかもありますので、そういう時には調理のほうで少し工夫しながら、いつもよりも少し多めにとか、そういうような盛り付けだとか、そういうのは対応しながら、できるだけ残菜をなくすような取り組みは現場も含めて行なっているという状況です。

○議長（鹿中順一君） 1番、篠原眞稚子さん。

○1番（篠原眞稚子さん） マラソンに関しては、いつもの予算額よりも若干増えているのでそうかなということで、予算が通らないうちにどんどん進むということにはならないというお話もありました。なかなかどなたがいいとかそういうことではないですけども、先ほどの話じゃなかったんですが、子どもたちにいろんな刺激を与えるという意味では、毎年呼べるわけではないので、いろんな年齢層があって、わかる人もいて、わからない人もいるようなお話もあったかと思えますけども、ぜひそのような方向で記念大会を盛り上げていっていただければというふうに思います。この時期になるとこういう問題はないのかなっていうふうに思うんですが、何ともコロナの先の話が見えないので、またがっかりさせるようなことになっても困るかもしれませんが、状況を見ながら準備をしていっていただきたいなと思いますので、よろしく願いいたします。

学校給食のことで、なかなか量を調べるということは難しいようなお話も以前に聞いたかなというふうに思いますが、ここのところに来て日本全体が食品ロスの問題が大きくクローズアップされる中で、推計というふうに出ていたんですが、量が何ともつかめなくて言えないんですけど、1年間に17.2キログラム、子どもたちが登校したところで残しているものがそんなにあるのかなというふうなことを、そこから読み取ったというか感じたところでは、調理クズとかそういうのもいろいろ出るとか、

それから食べ残しがあるとか、子どもにもやっぱり嫌いなものは食べなくて残してしまふというようなこともあるようにもその中に書かれておりました。

何より、ただもったいないということだけで話を持っていっても難しいんじゃないかというようなことで、生きているというか、食べるというか、いろんな話を子どもに聞かせるというような取り組みもしているようなところがあるみたいです。

ただ一方に、残さず食べなさいということの指導が強いと、給食があるから学校に行かないとか、行けないとか、そういう子どもも反面出てくるというようなことで、非常に兼ね合いというのが難しいんだなということを感じ取りました。やっぱり小学生というか、今の子どもの世代というのはおかしいですけど、生まれた世代によって、本当にお米1粒でも大切にしなきゃならないというようなことからずっときている中では、やっぱり豊富な食糧の中で、食べたいものだけつまみ食いするような中で育っているなかでは、食に対する指導というか学習というのは難しいのかなというふうに思いましたけど、これからも、ゴールが2030年でしたか、そこまでにどんどんいろんな話が出てくるかなというふうに思いますので、やっぱりいろんな角度からそういうような健康な子どもたちを育てていくというのは、食が大きな問題があるかと思しますので、その辺のところ考慮しながら、調べたものがあれば後で見せていただければいいかなというふうに思います。そんなふうに感じたので質問しました。

○議長（鹿中順一君） 生涯学習課長補佐。

○生涯学習課長補佐（石川波江さん） マラソン大会の関係、しっかり実行委員会の方と、コロナのこともあって、また課題もあるかもしれないんですけども、大迫傑さん直接、今までは結構つながりを使っていろんなオリンピックにお願いした経過もあったんですけど、今回はたまたまホームページを探して簡単なメッセージ、小さな町のマラソン大会ですということで、参加者も350人ぐらいの規模ですと、何とか参加する方に夢と希望をお願いしますみたいな簡単なものに反応していただいて、すぐ会社の方、同じ苗字なのでお兄さんか、弟さんだと思いますけど、すぐ返事をいただいて、何とか本人も乗り気ですので、何とか検討したいと。ただ本当、さっきも言ったように現役復帰するとなれば、またスケジュールが詰まってくると思いますので、かなうかどうかわかりませんが、今後しっかり早めに準備していきたい、実行委

員会と相談して進めたいと思っています。

○議長（鹿中順一君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（千葉 誠君） 議員のほうから調理クズというようなお話もありました。現場のほうには、やはりそういうのを少しでも減らしていくというような形と、それから、それぞれ子どもたちは好き嫌いというものもあると思いますけれども、逆に好きな味付けだとか、そういうのもあると思いますので、現場、調理師含めてそういうことを変えることによって、また少しでも子どもたちが食が太くなるといいますか、食べる量が増えてくれればいいのかと思いますので、そういうことも含めて現場のほうとまた話をして進めていきたいと思っています。

○議長（鹿中順一君） 1番、篠原眞稚子さん。

○1番（篠原眞稚子さん） マラソンのことはわかりました。

学校給食は、周りにあまり給食を食べる人もいなく、いろいろ聞かなくなったからわからないんですけど、以前には給食日より、大人が読んでもためになりそうなのか、そんなのも入っていたかなというふうに思いますので、いろんなやることはたくさんあるのは承知してはいますが、やっぱり子どもの体というか、大人に成長していく上での栄養をきちんと取るということは、いろんな問題があって学校給食の1食だけでもきちっとしたものを食べさせたいという思いもおかしな話ですけどもあるみたいなので、その辺のところも考慮しながら進んでいってもらえればなというふうに思います。

以上です。

○議長（鹿中順一君） 7番、佐藤久哉君。

○7番（佐藤久哉君） 340ページ、道路除排雪経費の委託料の町道除排雪業務 399万5,000円が計上されております。これ以外にも道路維持管理費のところでも同じように予算が組まれていると思うんですけども、これについては、例年どおりの業務をするという形で予算を組んでいるのか、まずお聞きしたいと思います。

次に、390ページ、その他小学校教育振興経費、学習補助員 1,065万4,000円、それから404ページ、同じく学習補助員 532万7,000円、二つ組まれていますけれども、この人数の内訳と、それから、その採用予定者が決まっているのかどうかお聞きした

いと思います。

続きまして 442 ページ、スポーツ合宿誘致事業、本年度、スポーツ合宿誘致事業 300 万円組まれておりますが、本年度の誘致予定、ラグビー関係についてどのようになっているかお聞きしたいと思います。

続きまして 444 ページ、先ほど小林議員のほうから質問がありましたけど、委託料、ジュニアスポーツ講習業務、これについて大体わかったんですけども、すぐ近場にカーリングのメッカがありまして、オリンピックということで、ちょっとシーズンオフにも入ると思うんですけども、ロコソラーレの方を呼べるのか、今回、予定の中に入れていいのかどうか、その点だけお聞きしたいと思います。

以上です。

○議長（鹿中順一君） 建設課長。

○建設課長（石川勝己君） 今ご質問いただきました 340 ページの道路除排雪経費の関係でございます。ここに計上している予算の部分につきましては、特に郊外の部分、市街地外でお願いを、町が直接委託契約を結ばせていただいております、例えば農家の方々 7 軒分ですとか、それから上里のホテルのほうに向かう道路についての除雪を網走道路整備事業組合というところをお願いしたり、また本岐地区には桃源ファームさんをお願いしている、それらの経費でございます。例年町がそれらの方々と契約をし、除雪出動基準に基づいて出動していただくという経費で、例年と変わらないというところでございます。

以上です。

○議長（鹿中順一君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（千葉 誠君） ご質問の 390 ページの、その他小学校教育振興経費の学習補助員の部分、それから 404 ページ、同じく学習補助員の分ですけども、309 ページの小学校教育振興経費につきましては、8 名を予定しております。404 ページの中学校費については、4 人を予定しております。

現状ですけども、小学校については 8 名の確保ということでできております。中学校については 4 名中 2 名の確保はできていますが、まだ残りはできていない状況で、ただ募集をした結果も適切者がいなかったということですので、もう 4 月が近いとい

うことです。1名の方が教員免許も所持をしているということで、臨時の教員というようなところの方向も考えながら、4月に向けて進めていきたいと考えております。現場のほうとしては、教員が直接つくことによって複数の児童の対応が直接できるということでお聞きしています。

よろしく申し上げます。

○議長（鹿中順一君） 生涯学習課長補佐。

○生涯学習課長補佐（石川波江さん） 私のほうからは、442ページのスポーツ合宿の予定なんですけども、今のところはっきりとした予定はないんですけども、2月、3月と合宿誘致に直接出向いてお話をする予定も、コロナの関係で直接お話できない状況であります。ただ、電話等では例年来てもらっている筑波大学も名古屋の名城大学も来たいという話がありますけども、なかなかこの先の部分があって正式に決まっていません。

あとNTTコミュニケーションズに関しましても、町長が東京へ出向いた時にも会社のほうによっていただいたりして、令和4年度は行くよというお話もいただいたところなんですけれども、昨日NTTのほうでチーム編成が変わったという、会社の形態から、さらにラグビー事業の事業を増やすというようなのがわかりまして、事前にももちろん町のほうには連絡がありましたが、正式な会社の立ち上げは7月ということですので、NTTの部分は実際にどうなのかなというのは今回答えることはできないんですけど、ただ、300万円の部分の中は、もともと合宿融資事業は500万円という内容でしたから、今後その部分で合宿誘致がラグビーまたはサッカー等、また新しい部分の誘致も進めていく予定ですし、コロナがなく予定どおりできるようでしたら、また合宿に関しては進める方向でいますので、また増やしていくお願いをするかもしれません。ただ、実際ラグビーの動向については、まだはっきりわかっていないです。

あと444ページのジュニアスポーツの関係です。佐藤議員おっしゃったように、実はまだ予算確定しないうちだったんですけども、5月、運動会前にかけてこ教室を進めなきゃいけない関係もあって、委託できる委託先のほうにいろいろ打診をしていたところで、実はカーリングのほうはロコソラーレで調整をしてくれているようではあるんです。実際、実現できるのかどうかというのは、私もちょっとびっくりして、実

は本橋さんのほうに直接お願いをして、同じ北見だし、ロコソラーレで調整するよというような連絡をいただいたので、予算が確定したらすぐにできることを報告していきたいと思っています。

ただ、やり方としてはカーリングホールはありませんので、北見市のカーリング場を予約して、3コースありますので、3コース津別町で貸し切った形の日程を組み、相手の日程がうまくあえばカーリングシーズンに入る前にロコソラーレが実現できるかもということで、まだはっきりしてはいないんですけども、いずれにしても5回予定している部分、トランポリンがちょっとオリンピックというのがなかなか見つけれないんですけども、サッカーもそうです、サッカーもコンサドーレがフットサルのチーム、エスポラーダ、北海道で活躍しているチームということでしたし、やっている方は結構わかるところの選手に来ていただけるかなと。ただ目的は、普段取り組んでいない子どもに、いろいろなスポーツにチャレンジしてもらおう機会でもありますので、これからではありますけど、議員おっしゃったようにカーリングのほうはロコソラーレ、できれば親子で体験したいなというふうに思っています。

○議長（鹿中順一君） 7番、佐藤久哉君。

○7番（佐藤久哉君） 除排雪業務のほうなんですけれども、私は町民の方、何人かから今回も言われたので、過去議員がみんな何回か問題にしているんですけど、置き雪の問題があります。町の管轄でない国道は別として、町内の町道ですとか道道のところ、昔から除雪した後に大量の雪が置かれて、なかなかその除雪が手作業では困難で苦労しているということで、何回か今まで議会でも問題になったと思うんですけども、今なぜ私この話をするかというと、高齢化が進んで、やっぱり重たい雪をよけるのが大変だという声が私のほうに届いているので、何とかならないかということと、私の聞いている範囲では、札幌市のほうは、既に置き雪対策として市民サービスとして置き雪をよけることを始めているということなんで、行政が乗り出したということは、やっぱりそういう課題は各町村でもっているのに対応するようになったと思うんですけども、町はそのことをどう考えているのか、考えがあればお聞かせいただきたいと思います。

それから 390 ページと 404 ページの学習補助員の問題ですけども、今私もお聞きし

て非常に特学関係がクラスで増えていますので、どうしても両方で12人という大量の雇用するための人材支援が津別にあるのかと、多分1人100万円ちょっとぐらいだと思えるんですけども、それぐらいの収入で12人の人材を確保するというのは、正直言いまして津別の町は結構皆さん奥さんがたもパートとかに就いていますから、なかなか探すのが大変だと。これからはもっと人口も減るし探すのが大変になってくるのかなというふうに思います。であれば、やはり国や道に支援を求めるとか、何か手を考えていかなければいけないんじゃないかと思うんですけども、考えがあればお聞かせいただきたいと思います。

今、町の中も工場なんかは半分ぐらいは美幌、津別から来ていると。しかし、さすがに学習補助員をよその町から連れてくるというわけにもいかないと思うので、何か考えがあればお聞きしたいと思います。

それから、スポーツ合宿のほう、まさに私も懸念しているのはNTTのことでありまして、実は昨日リーグ1に正式にチームが通達したということで昨日ネットニュースになっていましたけど、もうちょっと前からその話は出ていて、ただ幸いなことに子会社だったのはコミュニケーションですけども、ラグビーのほうはコミュニケーションがリーグ1に残って、レッドハリケーンのほうは3部というか社員だけでやるものにするということなので、今までお付き合いしているシャイニングアークスにつきましてはリーグ1に残るということなので、強化していく形になるので、むしろ前よりもたくさんの方数に来ていただけることになるのかなと思っています。コロナが明けなければ無理なんですけど、その辺、体制がかわって事務局長がかわるので、ぜひ密にコンタクトをとっていただいて、また津別に継続して来ていただけるようにしていただきたいと思ってお願いいたします。

それからジュニアスポーツの関係なんですけども、今、期待していたお答えをいただけたので大変ありがたいと思います。

女子ゴルフがすごく黄金世代とかといって盛り上がっていますが、皆さん宮里藍さんに憧れて大体ゴルフを始めたという形で、私どもも小さいころ野球のユニフォームを買ってもらったと、背番号は1番か3番でした。やっぱり子どもって、そういう一流の選手を見たら憧れて、そのスポーツを目指すものですから、ぜひそういうオ

リンピアンの人たちに直接触れる機会をつくって、津別の町からもオリンピックが出るように仕掛けていきたい、そういう社会教育の熱意が感じられましたので、今後とも頑張っていたきたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 建設課長。

○建設課長（石川勝己君） 間口除雪です。置き雪の関係でございます。議員がおっしゃられたように、以前からこの話題については幾たびも出ておりました、私どもも課題というふうに思っていますが、なかなか解決に至らないというところでございます。これは津別だけじゃなくて近隣の自治体も同様な課題ということで認識をしています。

実は、網走地区道路交通管理協議会という組織がございます。これは網走市、大空町、美幌町、それから北見市の常呂自治区、それから津別町、これらをエリアとする区域の中にある国道、道道、それぞれの市町村道の除雪の関係について協議、調整、それから意見交換をするという会議体でございますが、これらには警察や消防なども入っております。そこで毎年12月上旬に、その年の、そのシーズンの除雪の打ち合わせをするわけでございますが、ここでも置き雪の問題については何度も意見交換というか、情報交換をするという意味で話題になります。昨年の12月の会議におきまして、網走市さんのほうから、この話題について出されました。というのも、美幌町で間口除雪のほうを実施しています。どのようにやっているんだという部分や、それらの課題や何かについて、状況について美幌町さんからもお聞きをしていたというような中身です。詳しくはあれですけども、たくさん台数で朝早い時間というか夜中、津別町は3時ないしは3時半に出動していますが、美幌町さんは夜中の12時出動というような形で除雪をやっているということでございます。

それらの情報を聞きながら、対応の部分について、まださらに苦慮しているという段階です。津別町においてやる場合、どういうふうになるかというふうに私どものほうも置き換えて考えるわけですが、現状の車両で新雪除雪出動した場合、その車両が一軒一軒というか、置き雪のことを気にしながらだと作業効率が非常に悪いという部分になります。それに対応するというやり方としては、その車両の後にミニショベルなりの車両がそれぞれの置き雪の対策、処理をしていくという形をしなければ対応し



きれないだろうなというふうに考えます。

ただ、そこで問題になるのは、そのミニショベル等の車両の台数、それから運転手の確保、そこに大きな課題があるというふうに私どものほうは認識していますし、この会議の中でも、そうだよねというような感じで自治体の共通の認識です。

高齢化という部分も含めて、津別町だけの課題ではないので、この協議会の中での情報共有や新しい間口除雪の仕方の工夫のアイデア等も、この中で聞いたり課題解決に向けて1歩ずつというよりは半歩、4分の1歩ずつになるかもしれませんが検討していきたいというふうに思っています。

現状としては、福祉のほうで行っている除雪サービスや、各自治会のほうに全てではないと把握していますが、除雪機の貸与もされて地域がボランティア的に行っているということもありますから、津別町としては、それらをうまく連携しながらというところが今の対処法かなというふうに私個人的にも考えております。

ただ、津別町においては、新雪除雪の関係では、今、申し述べた状況なんですけども、日中また雪が降り積もって拡幅除雪をするだとかという部分については、できるだけミニショベルを配置して、排雪のときも含めて、その時の間口に雪を残さないようにという対応はしております。

以上です。

○議長（鹿中順一君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（千葉 誠君） 学習補助員の関係ですけども、やはり国や道の支援ということで、すみません私のほうで今ちょっとこういうふうにといいところまでは思い浮かばないので申し訳ないんですけども、今回、前任の方が退職するということで、新たに3名の方が来たわけですが、そのうち2名が美幌町から来ていただく方になりました。

今回ハローワークのほうにも出させていただいて、それでもちょっと人数に達しなかったんですけども、ハローワークの求人を見て、ちょうど時間帯が逆に働きやすいということで、主婦の方だったんですけども、仕事が終わってからまた家で家のこともできるというような時間帯なのでということで、応募もいただきました。こちらとしては1日フルではないので、なかなか難しいのかなという部分もあったんです

けれども、そういうような部分もあるということが今回わかりましたので、いろいろアンテナを張ったり、ハローワークに出したりということでまた行っていきたいと思っています。

ただ、特別支援の児童が中学校ここ3年ぐらいが1番ピークだと思っております。小学校については徐々に減りつつありますので、ここ3年後までが1番のピークかなと思っておりますので、現在、勤務いただいている方が引き続き務めていただくということを願っているところではありますが、今後、何かまた募集の時ということがありましたら、またハローワーク等も通じながら募集をしていきたいというふうに思っております。

○議長（鹿中順一君） 生涯学習課長補佐。

○生涯学習課長補佐（石川波江さん） 442 ページのスポーツ合宿の関係です。佐藤議員おっしゃったように、ドコモ関西は、昔、フォレスターの時代に津別に来ていただいていたチームでもありますし、今後、網走市、北見市とも広域的に連携をとりながら、またシャイニングアークスの体制が変わっても、つながりのつながりのまたつながりもいろいろつくりながら、合宿誘致のほうをしっかりと進めていきたいと思っています。

お金が足りなくなるぐらいチームに来ていただけるような、なんせコロナというのがあって、なかなかすぐに動けない部分もありますけれども、しっかり取り組んでいきたいと思っています。

あと 444 ページのジュニアスポーツの関係、ロコソラーレは確かに大人もぜひプレー一緒にやりたいなという部分なのかなと思いますし、実現できるかわかりませんが、やはりオリンピック選手を津別からという部分はすごい大人の夢でもありますけれども、なかなか結構、かなり努力をしなきゃいけないというようないろいろな、実際にオリンピックの話聞いて、子どもたちがみずから努力しなきゃこうならないんだよというのを自分で気づいてもらいたいという社会教育の思いでもあります。そこから、スポーツはやはり今回のオリンピック見ましても、やはり見ているだけで感動できるものだなと思うように、このいろいろなスポーツをとおして自分たちでいろいろやったことがないスポーツにチャレンジしてもらって、できなかったものができる

ようになったとか、そういう小さなことから、自分は何をやりたいんだらうっていうスポーツ以外のことにも気づいてもらえたらいいなというふうに思っています。

実際にオリンピックというところまではいきませんが、一度話したかもしれないのですが、スケートは何年前でしょうか、4、5年前にやったアスリート事業、道教委と連携した事業で、スケートで来ていただいたときに、そのとき小学生でかなり普通にスケート少年団としてやっていたんですけども、ちょっと滑りが違うぞということで少し教えていただき、美幌町に中学生になっても行き、それで全国、中学も出るようになり、高校はスケートで進学するというふうに聞いています。ですから、そういうところでオリンピックを夢見てやっているんだらうなということで、そういう部分を身近に子どもたちも見て、頑張れば努力は報われるんだなというようなところを、実際に子どもたちがそれぞれ体験してもらいたいと思っています。それをまた周りの大人がいろいろな形で応援していければいいなと思っていますので、よろしくお願ひします。

○議長（鹿中順一君） 除排雪の関係については、町のほうもいろいろ検討してくれていることがわかりましたので、聞かれた方にはお伝えしていきたいと思ひます。今後とも、やはり住民の方の希望にできるだけ応えられるように努力していただきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

オリンピックの最後の質問の関係なんですけれども、今年はこれでいいと思ひんですけども、津別はあまり対象者はいませんが、障がい者のスポーツ、そういうもので成功体験がある方というのは、障がい者の子どもたちだけじゃなくて、やっぱり一般の児童たちにも諦めない心だとか、強い心をつくる、スポーツに対する真摯な取り組み方とか、そういう意味では非常にお手本になる方たちだと思ひるので、ぜひ来年度以降も続けるのであれば、そういった方も今年度の事業を振り替えるときに検討していただければというふうにご意見申し上げます。

両方とも答弁はいりません。

○議長（鹿中順一君） ほかに。

9番、山内彬君。

○9番（山内 彬君） 368 ページの下段にあります津別高校振興対策事業関係で、確

認と今後どうなるのかお伺いしたいと思いますが、公立高校は昨日、第1次募集の試験の発表があったようでございます。出願されている人数についてはお伺いしたところなんですけども、昨日、津別高校に合格された人数についてわかればお伺いしたいと思います。

かつ津別中学校の卒業生が26名というふう聞いておりますが、そのうち今回、津別高校のほうに合格された人数について、わかればお伺いしたいと思います。

この先、第2次募集というのがあるかと思っておりますけども、それあたりの見込みについて、もしわかれば教えていただきたいと思っております。

○議長（鹿中順一君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（千葉 誠君） 予定では27人の応募ということになっておりまして、地元からは17人、町外からは10人というような数字になっております。

2次募集については、ちょっと状況は把握しておりません。ただ、この中で併願している方もいるかと思っておりますので、その辺についての結果については把握をしていない状況です。

○議長（鹿中順一君） ほかにありませんか。

8番、高橋剛君。

○8番（高橋 剛君） 1問だけお願いします。482ページの中段、給食センターの施設管理経費の修繕料がございまして、こちらのほう、給食センターはかなり以前から問題になっておりますとおり老朽化が進んでいると思うんですけども、修繕料の額が正直少ないなという感じもするのですが、これの中身はどういった感じですか。

○議長（鹿中順一君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（千葉 誠君） 内容につきましては、施設小破修繕が14万3,000円、それからボイラーの関係で、2基で13万2,000円、除雪機が1万3,000円余りというような内容になっております。

○議長（鹿中順一君） 8番、高橋剛君。

○8番（高橋 剛君） 内容はわかりました。これ大幅に増えることはとりあえず今年はないという感覚でとらえていらっしゃるのか、その辺りのことと、それと肌感覚として私個人もそんなに施設を見させていただくのは、以前見させていただいている

んですが、その時にも結構、正直古いなというか、施設の厨房のつくりからしてもちよっと古いなという感じを受けたんですけれども、その辺りの老朽化が進んでいるという、そういう肌感覚といいましょうか、そういうのはございますでしょうか。

○議長（鹿中順一君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（千葉 誠君） 議員のおっしゃるように建物は古くなってきております。直さなければいけないところも出てくると思っております。今の部分については施設管理ということで、例年でいくと議員が言われるように少ないという部分もあるかもしれませんので、状況に応じてまたご相談をさせていただきたいと思っております。

ただ、調理場の部分については別予算で49万3,000円ほど見させていただいております。調理場内の例えば配管ですとか、機械ですとか、そういうところについては別予算でということで対応させていただきたいと思っております。

○議長（鹿中順一君） ほかにありませんか。

2番、渡邊直樹君。

○2番（渡邊直樹君） 大きく3点ほどお伺いいたします。

一つ目は340ページ、道路橋梁維持整備事業、14の工事請負費でございます。その部分の一つ一つの項目じゃなくて、この工事請負費、道路整備をした後、終了後についてはどのようなチェックをなさるのか、と言いますのは、今、雪解けしてきて、昨年だと思うんですが共和集会場の前の辺りを整備したかと思うんですが、もうひび割れが出てくれば、そういうものがあちらこちらやったところが見えてくるので、そういうものについては予算の中でどういう管理扱いですのか、やったところがそういうところをまた見ていくのか、それともこれはこれでやったということに対しての予算なので、そういうことはあり得ないのか、その部分、物事は何でもやった後というのは、近々の部分についてはどういう扱いになるのか、その何年もたって壊れたとか、何年もたってひび割れたというものは別として、やったものに対して直近で傷んだものについてはどういう扱いになるのかお聞きしたいと思っております。

2点目は418ページ、家庭教育振興経費、その部分の派遣費、補助金などありますので、事業内容についてお聞きしたいと思っております。

最後3点目は458ページ、町民ゲートボール場管理経費の工事請負費、休憩室等解

体の 450 万円ほどでございます。この部分について、休憩所以外付属にこまごましたものがあると思うんですが、その部分の撤去も含めて、ある意味言い方として真っさらな状態になるということの予算なのか、また、その後の予定についても、その部分について何かお考えがあればお聞きしたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 建設課長。

○建設課長（石川勝己君） それでは、一つ目の道路工事後の関係になります。基本的には、工事をした後はそんなに直ぐ傷みがこないとは思いますが、今、議員のおっしゃられたように、冬場を越して凍上だとかひび割れが出て来る場合もあるというふうに思います。工事したての箇所に限らず、全部の路線については毎日ではございませんが、道路パトロールという形で我々が別用務で外に出かける場合であっても、それから維持管理をお願いしている道路管理センターが作業をする移動のときも含めまして、道路の状況については都度確認しています。万が一そういう部分の箇所が出てきた場合については、原因とか状況とか、規模とかによって対応をそれぞれ考えていくという形になります。

○議長（鹿中順一君） 生涯学習課長補佐。

○生涯学習課長補佐（石川波江さん） 418 ページの家庭教育振興経費の役務費、手数料の関係ですけれども、家庭教育の関係、コロナの関係で令和 3 年度は読み聞かせ等を 2 月に実施できたんですけれども、2 年度は実施できていないという経過から、令和 4 年度は、今考えているのは映像制作教室ということで道東テレビさんの協力を得て、単純にただ映像をつくるだけではなくて、その保護者の学習的にセキュリティの関係だとかも含めた形でできるかなということで計画しています。ただ 2 月に家庭教育講座をやった時に、やはりちょっと人数も少なかったんですけれども、アンケート等をとって、やりたいものの意見を聞いているところであります。なので、今のところは映像制作教室を準備中でありましてけれども、今後家庭教育のメンバーの中から声が上がって、できる範囲で実施していきたいなということで、これも、中期計画は 4 年目なんですけれども、その中で実施しています。

あと 458 ページの旧ゲートボール場を廃止する部分ですけれども、この解体は全て休憩室、物置、トイレ、また仮設トイレもあります。あと物置等を壊したときの撤去

物もありますし、細かく言えば柱等あるんですけど、全て撤去するというような工事費になっていますので、その後の利用方法については総務文教委員会でもお話ししたんですけれども、場所的に河川敷近くというところもあって、今後の予定は今のところ立っていないというような状況です。

○議長（鹿中順一君） 2番、渡邊直樹君。

○2番（渡邊直樹君） 1点目の道路橋梁の関係の部分については、私も体調管理を含めて町内をパトロールしていますので、そういう中で、ちょっと雪解けが今見えてきた中で、確かにここやったばかりだよなというところの舗装のつなぎ目も含めて、すごく共和の集会所の所はパッと私も素人ながら見た感じひどかったなので、返答はしないんですけど、ちょっと注意深くチェックしていただきたいと思います。

あとゲートボール場の所については、その付近で以前委員会とかでも質問したと思うんですが、町有地が売れて、今そこは雪ため場になっていると思うんです。そこ3区画が無事そこが進んでいくという話を以前聞いたので、例えばそういう話が進んでいった場合、今雪ため場になっている共和の部分が使えませんが、そういうときに、ちょうど今のゲートボール場のところが空くので、そういう活用何かは考えているのか、できるのか、先ほど河川敷付近ということもあったので、地域のそういう雪置き場みたいな形の、今はなっていないんですけど、そういう形も考えられるのかどうかお聞きしたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 建設課長。

○建設課長（石川勝己君） 一つ目についてはいいと言われたので、よろしいということで、二つ目の関係、雪置き場という形のお話でしたので、私のほうから。

市街地内の雪の置き場については、我々が排雪作業をして集めた雪を置く場所にしております。一般町民の方々は達美のほうにということで案内をして、一般町民の方は捨てないという場所をしているところです。必要に応じて、その雪の降雪量、それから排雪作業の実態によって、そこに置かせていただくと。我々が土地を貸してもらってというか、置いていいですかという許可をもらってになりますが、そういう形で使っていく部分が、廃止になったゲートボール場に置く必要が出てくれば使わせていただきたい。過去に何年か前に置いた経過はございます。

○議長（鹿中順一君） ほかにありませんか。

第8款土木費から第9款消防費、第10款教育費、第11款災害復旧費、第12款公債費、第13款予備費までの質疑を中断します。

暫時休憩をします。

休憩 午後 1時48分

再開 午後 2時00分

○議長（鹿中順一君） 休憩を閉じ再開します。

生涯学習課長。

○生涯学習課長（千葉 誠君） 先ほどの山内議員の質問の訂正ということを見せていただきたいと思います。

今年度の津別高校への入学の関係ですけれども、受験が22名ということで、町内については11名、町外が11名ということで、合計22名ということになります。

訂正させていただきます。

申し訳ございません。

○議長（鹿中順一君） 次に、一般会計予算の歳入について一括を許します。

ページ数は11ページから48ページまでです。

ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 一般会計予算の歳入の質疑を中断します。

以上のおり一般会計予算の各部分ごとに質疑を行いました。一般会計予算の全体を通して質疑もれがありましたら質疑を許します。

ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 以上で一般会計予算の質疑を終結します。

◎延会の決議



○議長（鹿中順一君） おはかりします。

本日の会議はこれで延会したいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 異議なしと認めます。

したがって、本日はこれで延会することに決定しました。

◎延会の宣告

○議長（鹿中順一君） 本日はこれで延会します。

明日は午前10時から再開します。

ご苦労さまでした。

（午後 2時 1分）

上記会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名する。

津別町議会議長

署名議員

署名議員